



2024年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年9月13日

上場会社名 株式会社アクシージア 上場取引所 東
コード番号 4936 URL https://axxia.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 段 卓
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当 (氏名) 福井 康人 TEL 03 (6911) 3899
定時株主総会開催予定日 2024年10月25日 配当支払開始予定日 2024年10月9日
有価証券報告書提出予定日 2024年10月28日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期の連結業績（2023年8月1日～2024年7月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期	12,192	7.5	918	△51.7	1,122	△41.0	794	△40.3
2023年7月期	11,341	38.0	1,899	16.3	1,902	8.9	1,330	19.2

(注) 包括利益 2024年7月期 865百万円 (△34.5%) 2023年7月期 1,321百万円 (8.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年7月期	32.06	32.00	9.1	10.6	7.5
2023年7月期	51.80	51.57	15.4	18.3	16.8

(参考) 持分法投資損益 2024年7月期 △3百万円 2023年7月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年7月期	10,543	8,536	80.9	349.51
2023年7月期	10,701	8,901	83.2	354.00

(参考) 自己資本 2024年7月期 8,534百万円 2023年7月期 8,901百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年7月期	800	△187	△1,551	4,928
2023年7月期	707	△438	△862	5,787

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年7月期	—	0.00	—	14.00	14.00	352	27.0	4.1
2024年7月期	—	10.00	—	10.00	20.00	491	62.4	5.7
2025年7月期 (予想)	—	5.00	—	5.00	10.00		38.3	

3. 2025年7月期の連結業績予想（2024年8月1日～2025年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,417	26.4	941	2.6	906	△19.2	636	△19.8	26.09

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 株式会社エムアンドディ、除外 1社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2024年7月期	25,167,000株	2023年7月期	25,896,000株
2024年7月期	750,000株	2023年7月期	750,000株
2024年7月期	24,776,251株	2023年7月期	25,694,445株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年7月期の個別業績 (2023年8月1日~2024年7月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期	9,719	1.0	742	△50.0	916	△37.5	642	△35.9
2023年7月期	9,619	27.1	1,483	5.2	1,465	△4.1	1,002	5.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期	25.95	25.90
2023年7月期	38.87	38.70

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年7月期	8,677	7,367	84.9	301.74
2023年7月期	9,644	7,964	82.6	308.68

(参考) 自己資本 2024年7月期 7,367百万円 2023年7月期 7,964百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3

「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(企業結合等関係)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2023年8月1日～2024年7月31日）におけるわが国の経済は、経済活動の正常化や雇用・所得環境改善の動き、インバウンド消費の増加を背景に、緩やかな回復傾向がみられました。一方で、中東地域をめぐる情勢や為替動向、物価上昇の影響等もあり、依然として不確実性を伴う状況が続いております。

国内化粧品市場においては、緩やかな景気回復を背景に消費は回復傾向にあり、円安効果によるインバウンド需要の回復もみられました。

中国市場においては、ALPS処理水の海洋放出による日本製品回避の動きがあり、収束しつつあるものの、不動産不況の継続、物価下落を背景に景気回復の動きに足踏みがみられ、依然として厳しい市場環境が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループでは、中国本土での広告投資を強化し販売力の強化を図るとともに、中国以外の地域への展開強化のための取り組みを進めてまいりました。中国においては、ブランドアンバサダーの起用、主力製品「AGドリンクX」の発売一周年を記念したDouyin（中国大手モバイルビデオアプリ）におけるライブ販売実施や、「エイジーセオリー」ブランドの拡充、インナーケア製品の拡充等、中国における更なる認知度及び売上向上に取り組んでまいりました。日本国内においては、インバウンド需要の回復を見据え、全国主要都市（渋谷、梅田、札幌、新宿、銀座）にポップアップ店舗を出店、また、京王百貨店 新宿店に直営店舗を新設いたしました。また、渋谷駅における「AGドリンクX」の大型ビジョン広告の放映等、日本における知名度向上にも取り組んでまいりました。その他の地域につきましては、ドバイ、香港、タイにおける展示会出展や、シンガポールに向けたライブ販売やイベントの実施等、グローバルな事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果より、当連結会計年度における経営成績は、次のとおりとなりました。

当連結会計年度の売上高は、処理水放出に伴う中国市場における日本化粧品回避の動き等の影響から徐々に回復の動きが見られ、12,192,379千円（前期比7.5%増）、売上総利益は9,610,556千円と過去最高を更新いたしました。一方で、ライブ販売等ECでの販売比率が高まったことにより、各種施策で起用したインフルエンサーに支払う広告宣伝費及び支払手数料が増加し、営業利益は918,344千円（前期比51.7%減）、経常利益は1,122,306千円（前期比41.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は794,348千円（前期比40.3%減）となりました。

なお、当社グループは化粧品事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

[業績の概要]

(単位：百万円、%)

	前連結会計年度	当連結会計年度	対前期比
売上高	11,341	12,192	+7.5
営業利益	1,899	918	△51.7
経常利益	1,902	1,122	△41.0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,330	794	△40.3

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて158,037千円減少し、10,543,324千円となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べて519,177千円減少し8,631,804千円となり、固定資産は、前連結会計年度末に比べて361,139千円増加し1,911,520千円となりました。

流動資産の主な増減要因は、自己株式取得等に伴う現金及び預金の減少859,130千円、売掛金の減少252,024千円、商品及び製品の増加275,971千円、固定資産の主な増減要因は、有形固定資産の増加257,427千円、無形固定資産の増加72,323千円、及び投資その他の資産の増加31,388千円等によるものです。

（負債）

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて206,689千円増加し、2,006,452千円となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べて321,558千円増加し1,684,804千円となり、固定負債は、前連結会計年度末に比べて114,869千円減少し321,647千円となりました。

流動負債の主な増減要因は、買掛金の増加4,813千円、短期借入金の借入による増加450,000千円、未払金の増加83,622千円、及び未払法人税等の減少181,681千円等によるものです。固定負債の主な減少要因は、長期借入金の返済による減少52,280千円、株式報酬引当金の戻入による減少68,967千円等によるものです。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて364,726千円減少し、8,536,872千円となりました。主な減少要因は、配当金の支払599,817千円等により利益剰余金が減少したこと等によるものです。なお、自己資本比率は80.9%（前連結会計年度末は83.2%）となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて859,130千円減少し4,928,836千円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度末における営業活動の結果得られた資金は、800,357千円（前年同期は707,845千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,110,778千円、売上債権の減少372,504千円、棚卸資産の減少108,221千円、及び法人税等の支払額545,408千円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度末における投資活動の結果使用した資金は、187,809千円（前年同期は438,692千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出363,426千円、無形固定資産の取得による支出26,160千円及び連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入113,813千円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度末における財務活動の結果使用した資金は、1,551,765千円（前年同期は862,745千円の支出）となりました。これは主に、長期借入による収入168,000千円、短期借入金及び長期借入金の返済がそれぞれ80,000千円及び360,952千円、及び自己株式の取得による支出660,298千円、配当金の支払599,040千円があったこと等によるものであります。

（4）今後の見通し

今後のわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復が続くことが見込まれます。一方で、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞継続に伴う影響、為替動向、物価上昇の影響等、国内景気を下押しするリスクもございます。

当社グループが主要市場とする中国においては、ALPS処理水の海洋放出による日本製品回避の動きは収束する見込みであるものの、厳しい雇用・所得環境や消費マインドの冷え込み等を背景に、個人消費等を中心に景気減速が続くことが懸念され、厳しい市場環境が続くと予想されます。

このような市場環境のもと、当社グループでは、主要市場である中国だけでなく、日本や中国以外の海外（シンガポールをはじめとした東南アジア、北米（アメリカ、カナダ）、オーストラリア等）における事業展開強化が重要であると考えております。

次期の業績につきましては、売上高15,417百万円（前期比26.4%増）、営業利益941百万円（前期比2.6%増）、経常利益906百万円（前期比19.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益636百万円（前期比19.8%減）を予想しております。

今後、目まぐるしく変化する中国市場に適応するための機動力を発揮し主要市場での売上拡大を継続しつつ、M&Aにより子会社化した株式会社ユイット・ラボラトリーズや株式会社エムアンドディとのシナジー発揮や、設立した海外子会社の活用により、日本や中国以外の海外における事業展開を強化してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性や企業間の比較可能性等を勘案し、当面は、日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえつつ国内の同業他社の適用動向等を鑑み、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当連結会計年度 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,787,967	4,928,836
売掛金	1,081,314	829,289
商品及び製品	1,616,600	1,892,571
仕掛品	11,464	11,429
原材料及び貯蔵品	268,682	208,832
未収還付法人税等	—	44,421
その他	386,336	725,734
貸倒引当金	△1,383	△9,311
流動資産合計	9,150,982	8,631,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	166,047	699,339
土地	393,578	385,132
その他（純額）	491,184	223,766
有形固定資産合計	1,050,810	1,308,238
無形固定資産		
のれん	56,011	133,154
その他	133,911	129,091
無形固定資産合計	189,922	262,246
投資その他の資産		
繰延税金資産	145,670	175,575
その他	163,976	165,459
投資その他の資産合計	309,647	341,035
固定資産合計	1,550,380	1,911,520
資産合計	10,701,362	10,543,324

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当連結会計年度 (2024年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	219,764	224,577
短期借入金	—	450,000
1年内返済予定の長期借入金	239,080	220,280
未払金	441,579	525,201
未払法人税等	237,875	56,194
賞与引当金	34,945	41,944
株主優待引当金	634	10,883
その他	189,366	155,722
流動負債合計	1,363,246	1,684,804
固定負債		
長期借入金	331,010	278,730
繰延税金負債	1,954	1,976
株式報酬引当金	68,967	—
その他	34,585	40,941
固定負債合計	436,517	321,647
負債合計	1,799,763	2,006,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,147,315	2,155,505
資本剰余金	2,049,315	2,057,304
利益剰余金	5,473,634	4,776,900
自己株式	△891,265	△655,867
株主資本合計	8,778,998	8,333,842
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	122,600	200,201
その他の包括利益累計額合計	122,600	200,201
非支配株主持分	—	2,828
純資産合計	8,901,599	8,536,872
負債純資産合計	10,701,362	10,543,324

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
売上高	11,341,033	12,192,379
売上原価	2,397,851	2,581,823
売上総利益	8,943,181	9,610,556
販売費及び一般管理費	7,043,411	8,692,211
営業利益	1,899,770	918,344
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,882	42,877
補助金収入	17,456	24,835
為替差益	10,005	147,943
その他	3,520	5,576
営業外収益合計	35,864	221,233
営業外費用		
支払利息	6,065	8,079
株式交付費	18,946	—
自己株式取得費用	5,120	4,431
持分法による投資損失	—	3,782
その他	3,098	977
営業外費用合計	33,231	17,271
経常利益	1,902,403	1,122,306
特別利益		
固定資産売却益	—	14,280
投資有価証券売却益	—	2,278
特別利益合計	—	16,558
特別損失		
固定資産除却損	—	821
店舗閉鎖損失	—	27,265
特別損失合計	—	28,086
税金等調整前当期純利益	1,902,403	1,110,778
法人税、住民税及び事業税	621,048	352,016
法人税等調整額	△49,509	△29,215
法人税等合計	571,538	322,801
当期純利益	1,330,864	787,976
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	—	△6,371
親会社株主に帰属する当期純利益	1,330,864	794,348

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
当期純利益	1,330,864	787,976
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△8,965	77,600
その他の包括利益合計	△8,965	77,600
包括利益	1,321,898	865,577
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,321,898	871,949
非支配株主に係る包括利益	—	△6,371

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2022年8月1日 至 2023年7月31日）

（単位：千円）

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,109,875	2,011,875	4,142,769	—	8,264,519	131,566	131,566	—	8,396,086
当期変動額									
剰余金の配当					—				—
親会社株主に 帰属する当期 純利益			1,330,864		1,330,864				1,330,864
新株の発行	37,440	37,440			74,880				74,880
自己株式の取得				△891,265	△891,265				△891,265
自己株式の消却					—				—
非支配株主との 取引に係る親会 社の持分変動					—				—
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）						△8,965	△8,965		△8,965
当期変動額合計	37,440	37,440	1,330,864	△891,265	514,478	△8,965	△8,965	—	505,512
当期末残高	2,147,315	2,049,315	5,473,634	△891,265	8,778,998	122,600	122,600	—	8,901,599

当連結会計年度（自 2023年8月1日 至 2024年7月31日）

（単位：千円）

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,147,315	2,049,315	5,473,634	△891,265	8,778,998	122,600	122,600	—	8,901,599
当期変動額									
剰余金の配当			△599,817		△599,817				△599,817
親会社株主に 帰属する当期 純利益			794,348		794,348				794,348
新株の発行	8,190	8,190			16,380				16,380
自己株式の取得				△655,867	△655,867				△655,867
自己株式の消却			△891,265	891,265	—				—
非支配株主との 取引に係る親会 社の持分変動		△200			△200				△200
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）						77,600	77,600	2,828	80,428
当期変動額合計	8,190	7,989	△696,733	235,398	△445,155	77,600	77,600	2,828	△364,726
当期末残高	2,155,505	2,057,304	4,776,900	△655,867	8,333,842	200,201	200,201	2,828	8,536,872

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,902,403	1,110,778
減価償却費	136,597	151,550
店舗閉鎖損失	—	4,819
のれん償却額	10,708	16,100
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△237	7,927
株式報酬引当金の増減額（△は減少）	68,967	△68,967
受取利息及び受取配当金	△4,882	△42,877
支払利息	6,065	8,079
株式交付費	18,946	—
為替差損益（△は益）	5,019	△35,652
売上債権の増減額（△は増加）	△574,039	372,504
棚卸資産の増減額（△は増加）	△315,190	108,221
前払費用の増減額（△は増加）	△11,873	△106,601
仕入債務の増減額（△は減少）	91,687	△22,102
未払金の増減額（△は減少）	190,846	23,107
未払法人税等（外形標準課税）の増減額 （△は減少）	△346	△32,712
未払又は未収消費税等の増減額	△105,190	△130,482
その他	50,012	△49,418
小計	1,469,493	1,314,275
利息及び配当金の受取額	4,882	40,181
利息の支払額	△6,485	△8,691
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△760,044	△545,408
営業活動によるキャッシュ・フロー	707,845	800,357
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△393,090	△363,426
有形固定資産の売却による収入	—	46,500
無形固定資産の取得による支出	△32,001	△26,160
投資有価証券の取得による支出	—	△900
投資有価証券の売却による収入	—	32,745
関係会社株式の取得による支出	—	△16,640
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 収入	—	113,813
保険積立金の積立による支出	—	△381
保険積立金の解約による収入	—	30,861
その他	△13,600	△4,220
投資活動によるキャッシュ・フロー	△438,692	△187,809
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△79,877	△80,000
長期借入れによる収入	250,000	168,000
長期借入金の返済による支出	△155,544	△360,952
株式の発行による収入	74,880	16,380
株式の発行による支出	△18,946	—
自己株式の取得による支出	△896,386	△660,298
配当金の支払額	—	△599,040
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却に よる収入	—	9,000
その他	△36,870	△44,853
財務活動によるキャッシュ・フロー	△862,745	△1,551,765
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,131	80,087
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△601,723	△859,130
現金及び現金同等物の期首残高	6,389,690	5,787,967
現金及び現金同等物の期末残高	5,787,967	4,928,836

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「前払費用の増減額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた38,138千円は、「前払費用の増減額」△11,873千円、「その他」50,012千円として組み替えております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、「化粧品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、化粧品事業に係る外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	その他	合計
1,178,581	10,007,137	155,314	11,341,033

(注)売上高は最終納入先を基礎とし、国又は地域に分類しています。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
大連嘉悦商貿有限公司	1,295,070	化粧品事業

当連結会計年度(自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、化粧品事業に係る外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	その他	合計
1,754,282	10,039,054	399,043	12,192,379

(注)売上高は最終納入先を基礎とし、国又は地域に分類しています。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年8月1日 至 2023年7月31日）

当社グループは、「化粧品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年8月1日 至 2024年7月31日）

当社グループは、「化粧品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：株式会社エムアンドディ

事業の内容：化粧品の小売販売、卸売販売等

② 企業結合を行った理由

本企業結合により、日本国内EC販売の基盤を獲得することとなるため、当社グループにおける日本国内の連結売上高拡大を狙うことに加え、中国割合が約9割を占める事業ポートフォリオを目指す方向（事業リスク低減、売上ポートフォリオの改善）へ近づけることが可能となるためであります。

③ 企業結合日

2024年2月1日

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後の企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したためであります。

(2) 連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年2月1日から2024年5月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	10,000千円
取得原価		10,000千円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 17,460千円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれん金額

93,244千円

②発生原因

主として、今後の事業展開によって期待される超過収益力から発生したものであります。

③償却方法及び償却期間

5年にわたる均等償却

第3四半期連結会計期間においては、四半期連結財務諸表作成時点における入手可能な合理的情報に基づき、取得原価の配分について暫定的な会計処理を行っていましたが、当連結会計年度末において取得原価の配分は完了しております。

(6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	571,862千円
固定資産	84,786千円
資産合計	656,648千円
流動負債	634,730千円
固定負債	105,162千円
負債合計	739,893千円

(7) 企業結合が当連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響額の概算額及びその算定方法

売上高	1,308,617千円
営業損失	41,001千円
経常損失	48,535千円
税金等調整前当期純損失	48,535千円
親会社株主に帰属する当期純損失	48,535千円

(概算額の算定方法)

企業結合が、連結会計年度開始の日に完了したと仮定して算定された売上高及び損益情報との差額を影響の概算としております。

また、当該概算額は、監査証明を受けておりません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
1株当たり純資産額	354.00円	349.51円
1株当たり当期純利益	51.80円	32.06円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	51.57円	32.00円

（注）1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	1,330,864	794,348
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益（千円）	1,330,864	794,348
普通株式の期中平均株式数（千株）	25,694	24,776
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 （千円）	—	—
普通株式増加数（千株）	113	49
（うち新株予約権にかかる増加数（千株））	(113)	(49)
希薄化効果を有しないため、 潜在株式調整後1株当たり当期純利益の 算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

（重要な後発事象）

該当事項はありません。